

# 国立精神・神経医療研究センター 国際セミナー

## - 日本学士院賞受賞・ジストロフィン発見 30 周年記念 -

東京大学の戸田達史教授、東京都健康長寿医療センター研究所の遠藤玉夫副所長が共同研究「福山型筋ジストロフィーを含めた糖鎖合成異常症の系統的な解明と新しい糖鎖の発見」で本年、第 107 回日本学士院賞を受賞されました。また、Kunkel 博士が 1986 年に Duchenne 型筋ジストロフィーの原因遺伝子及びその産物であるジストロフィンを発見されてから、30 年となります。今回、この 3 名の著名な先生方に記念講演を依頼いたしました。今後の筋研究を展望する重要な講演となりますので、多くのご参加をお待ち申し上げます。

日 時：平成29年 11月20日（月）13:00～16:20

場 所：教育研修棟 ユニバーサルホール

### ◆13:00-14:00◆

座長：西野 一三

（国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第一部 部長）

福山型筋ジストロフィーを含めた糖鎖合成異常症の系統的な解明  
戸田 達史（東京大学大学院医学系研究科神経内科学 教授）



### ◆14:10-15:10◆

座長：田中 廣壽

（東京大学医科学研究所附属病院 抗体・ワクチンセンター 免疫病治療学分野 教授）

糖鎖研究から見た筋ジストロフィー  
遠藤 玉夫（東京都健康長寿医療センター研究所 副所長）



### ◆15:20-16:20◆



Chairman: Shin'ichi TAKEDA (NCNP)

Duchenne Muscular Dystrophy;  
30 Years after the Identification of Dystrophin

Louis Kunkel (Division of Genetics and Genomics,  
Boston Children's Hospital, Harvard Medical School)